

令和2年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立山崎高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 教務主幹教諭(教務主任兼務)＝事務局長、生徒部主幹教諭（生徒部主任兼務）、進路指導主幹教諭（進路部主任兼務）、3学年主幹、2学年主幹、1学年主幹 計6名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画課室長、教務主幹教諭(教務主任兼務)、生徒指導主幹教諭(生徒部主任兼務)、進路指導主幹教諭（進路部主任兼務）、3学年主幹教諭、2学年主幹教諭、1学年主幹教諭 計9名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
町田市青少年健全育成忠生第五地区委員会会長、山崎高等学校同窓会副会長、山崎高等学校PTA副会長、町田市立山崎中学校校長、町田市立七国山小学校校長、町田消防署忠生出張所長、桜美林大学入学部統括アドバイザー、町田市教育委員会指導主事 計8名

2 令和3年度学校運営連絡協議会・評価委員会・防災委員会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和2年6月18日（金）（新型コロナウイルス感染症感染防止のため紙上開催）
令和2年度学校経営計画、令和元年度学校経営報告、令和2年度各分掌・学年の取組について書類を配布の上、アンケートを実施
 - 第2回 令和3年11月20日（金）内部委員7名、協議委員6名（内1名代理）
校長報告、各分掌、各学年による報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価アンケートの内容検討、協議
今年度の防災教育の取組について
 - 第3回 令和3年2月12日（金）（新型コロナウイルス感染症感染防止のため紙上開催）
令和2年度学校評価アンケートの集計結果について、令和2年度各分掌・学年の取組について書類を配布の上、アンケートを実施

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象：600人 回収：598人 回収率：99.7%
 - ・12月 保護者全員 対象：600人 回収：421人 回収率：70.2%
 - ・12月 教職員 対象：38人 回収：38人 回収率：100.0%
 - ・12月 地域・住民 対象：200人 回収：21人 回収率：11.0%
- (3) 主な評価項目
学校運営、授業・教育課程、進路指導、生活指導、学校行事・部活動、学校生活、広報活動、施設・設備、ワークライフバランス等
- (4) 評価結果の概要・分析・考察
 - ・山高に入学させてよかった、生徒は充実した高校生活を送っていると考え保護者の割合が高く、生徒の評価を上回っている。
 - ・学校は生徒や保護者からの連絡や相談に適切に対応しているという割合は全体の8割以上となっている。
 - ・概ね3/4の生徒が授業の教材や指導方法を工夫していると考え、学校の授業に満足している。
 - ・授業で基礎学力がついたと考える生徒は3/4だが、保護者は2/3にとどまっている。
 - ・進路指導が充実していると考え生徒が約8になのに対し、教員は1/3にとどまっている。
 - ・教員・生徒共に8割以上が学校の生活指導は適切と考えている。
 - ・教員・生徒共に9割以上が授業規律を守っていると考えている。
 - ・生徒・保護者訳9割がルールやマナーを守っていると考えている一方、教員の6割は生徒の通学のマナーについて問題があると考えている。
 - ・平均家庭学習時間について、平日・休日ともにほぼ8割の生徒が1時間未満にとどまっており、そのうちの全く学習していない。
- (5) 自由意見

- ・先生によって分かりやすい授業とそうでない授業がはっきりしているので、工夫をして、分かりやすくしてもらいたい。(生徒)
- ・生徒の理解度をよく見て、授業を進めてほしい。(生徒)
- ・習熟度別授業は習熟度に応じて分かりやすくしてほしい。(生徒)
- ・子供から授業が分からないと言われるとつらいので、分かりやすく興味のもてる授業をしてもらいたいです。(保護者)
- ・勉強が苦手な生徒や進学を望んでいる生徒に、個別対応や補習の充実をお願いします。(保護者)
- ・家庭学習をするように、毎日宿題を出すなどしてほしいと思います。(保護者)
- ・進路指導等熱心に取り組んでいただけて感謝しています。(保護者)
- ・体育の服装について検討してもらいたいです。(保護者)
- ・理由が分からない校則を見直していただきたいです。(保護者)
- ・横断歩道の渡り方や自転車のマナーが悪い生徒さんもいるので注意してもらいたい。(地域)
- ・地域の山高として期待しています。(地域)

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・校内からは見えない課題をあぶりだすことができたと同時に、学校の活動のどのようところが評価されているかについて知ることができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、いかに家庭学習にとりくませるか工夫をしていく必要があることがわかった。今後、検定や小テストなどで目標を持って取り組ませたり、講習・補習を充実させて意欲的に取り組ませたり、宿題を課したりすることが必要である。
- ・昨今の状況に合わせ、制服や校則について見直しが必要である。
- ・校内の整備や運用について課題のあることがわかった。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学習指導・進路指導について

- ・生徒一人ひとりの学力を向上させるために、分かりやすく工夫があり、思考力・判断力・表現力が伸びる双方型の授業実践を目指し、校内研修や教員同士の相互授業見学等を行い、授業改善につとめていく。
- ・数学・英語の習熟度別授業において、習熟度の良さが発揮できるような授業内容を教科で検討していく。
- ・苦手な生徒への補習や進学に向けた講習を増やし、学校全体で学力向上に向けて底上げを図っていく。
- ・家庭での学習時間が伸びるように、各教科で検討していく。
- ・生徒一人ひとりの進路実現を目指すため、三者面談等を実施し、多様な進路に応じたきめ細かい進路指導を今後も引き続き実施していく。

(2) 生活指導・校内美化

- ・生徒に寄り添い向き合う指導、基本的なルールやマナー（授業規律。あいさつ・自転車のマナー、SNSルール、身だしなみ、遅刻）等を徹底するように教員が皆で統一した指導を実施していく。
- ・お互いを尊重し、相手を思いやるこころを育てていくための指導を引き続き行っていく。
- ・創立40周年に向けて、学校行事等の内容の見直しや校内美化を強化していく。

(3) その他

- ・今後もHPの充実とメールを活用して、学校からのお知らせを保護者の皆様に迅速にお伝えしていく。
- ・「やまこう Newsletter」（2週間に1回発行予定）を通じて、学校での様子を生徒・保護者・地域の皆様、中学生に情報発信し、信頼される学校づくりを行っていく。

6 その他

- ・職員会議、企画調整会議への協議委員の参加は行わなかったが、紙上開催時にいただいたアンケートを元に校内の改善を進めた。
- ・今年度、授業評価アンケートの質問項目を整備し、各項目について生徒・保護者・教員の考えを比べられるようにした。今後、経年変化についても比べられるよう、現在の質問項目を継続していきたい。